

生活支援コーディネーター：水口郁敏・村山泰子・有澤晃暁
中尾忠央・中家祥二・千本邦子

住み心地のよい地域を目指して

たすけ合う隅田とは？

たすけ合う隅田だより第1号でご案内したように、平成30年2月に「たすけ合う隅田」（隅田地区第2層協議体）が発足し、住み心地のよい隅田地区を目指して、今何が必要か、あと5年後10年後を考えて今からできることを考えようと話し合いをしています。

協議体には、各地区の区長をはじめ、有志の方々が、2ヶ月に1回、隅田地区公民館に集まっています。

現在は新型コロナウイルス感染の拡大防止のため休止しています。

各地区の取り組みをご紹介します！

本号では、各地区の今後の取り組みを推進していただくため、各地域の活動状況についてレポートをまとめました。今回は4地区を掲載します。他の地区については、次号にて掲載する予定になっています。



令和元年5月31日全体会議の様子

各地域の活動状況



令和2年2月19日開催
サロン 居酒屋こうぜ

生活支援に向けた取り組みを 検討する委員会を設置

〜河瀬地区〜

河瀬区では高齢者等が安全で、安心して暮らせる地域、健康で楽しく暮らせる地域づくりを目指して、令和元年に「河瀬区生活支援に向けた取り組み検討委員会」（第3層協議体）を設置しました。

委員は、区役員・サロン活動世話人・民生委員・医師・福祉施設代表・区内各種団体代表・ケアマネージャーなど20名で構成しています。3つの分科会に分け、これまで委員会を2回開催しました。

まず、状況把握のため、60歳以上の区民を対象にアンケートを実施しました。その結果をもとに今後、各分科会で課題を検討していきます。

**地域のたすけ合い活動を推進する
組織の立ち上げ**

～山内地区～

関係団体と協議して、地域における助け合い活動を推進していくための組織として「たすけ合う山内区民の会」を立ち上げました。

推進メンバーは区長・区長代理・長寿学会長・公民館館長・民生児童委員・区長推薦委員など8名で構成しています。

区の課題を顕在化させ、優先順位を決め取り組んでいくために、生活状況に関するアンケートを実施しました。

現在、活動組織の確立及び運用基準の策定に向けて一歩一歩進めています。

〈これまでの取り組み〉

平成31年3月

区の総会にて区民に周知

平成31年4月

議決機関である立会人会で議決

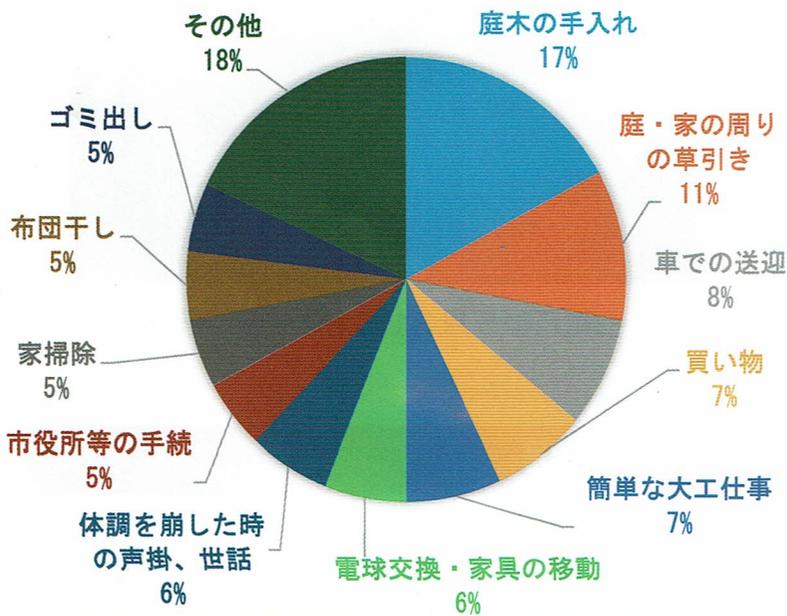
令和元年7月

準備会開催

令和2年2・3月

生活状況に関するアンケート調査の実施

日常生活で手助けしてもらいたいこと



**区民の意見を反映した
助け合い活動を検討中**

～垂井地区～

垂井地区の住民を対象に生活状況アンケートを実施しました。アンケート結果をもとに、協力者を集めて、第3層のメンバーを決定し、生活支援のための組織を検討しています。組織の名称を「垂井助っ人隊」と命名しました。これから実施に向けて検討を重ねていく予定です。

**皆が楽しく集える場として
ふれあいサロンを設置**

～中島地区～

中島地区の住民の健康増進、相互の親睦を図りながら明るく笑いの絶えない、気楽な会を目指して、ふれあいサロン「中島つなぐ会」を立ち上げました。中島集会所を主会場として毎月2回以上開催します。対象者は65歳以上の中島区民で、サポートスタッフを含め、60名の方が登録してくださいました。

令和2年12月1日に、第1回「中島つなぐ会」を開催しました。



第1回中島つなぐ会の様子